

Title	阿蘇火山における連続微動の発生位置とその時間変化から推定される噴火準備過程
Author(s)	市村, 美沙
Citation	(2017): 1-2
Issue Date	2017-02
URL	http://hdl.handle.net/2433/227495
Right	
Type	Presentation
Textversion	author

阿蘇火山における連続微動の発生位置と その時間変化から推定される噴火準備過程

京都大学 理学研究科 M2

市村 美沙

まとめ

阿蘇火山において、2011年5月と2014年1月に
火孔開口・ごく小規模な噴火が発生した。

1. これら噴火イベントにおける連続微動の発生位置は
火口下の深さ400 mから火口底表面にかけて分布した。
→ クラック状火道と火口底をむすぶ最浅部の流体経路
2. 火山活動の推移とともに連続微動の発生位置が移動した。
 - 火孔開口前：震源深さ200 m程度・振幅増大
→ 供給量増加・経路内増圧による流体経路の拡大
 - 火孔開口後：振幅急減
→ 火孔開口による流体経路内の圧力低下
 - 小規模噴火前：震源が浅くなる
→ 小規模噴火に至る振動領域の上昇